

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 32	バイオスティミュラント資材と eco みどり配合肥料による新たな青梗菜の栽培体系の創出
---------------	---

1. 解決したい課題の内容

- ・食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現することを目的に、令和3年度に策定された農林水産省の『みどりの食料システム戦略』に基づき、化学農薬や化学肥料に頼らない害虫等の防除方法の確立が求められている。
- ・浜松市の特産品である青梗菜は、近年の気象変動により病気にかかりにくい良苗を安定生産することが困難となっている。
- ・苗質改善に取り組む中で、バイオスティミュラント（以下BS）と呼ばれる、植物や土壌により良い生理状態をもたらす様々な物質や微生物を含めた資材試験を実施して候補を絞っており、圃場現場（農地）への応用を進めていきたい。
- ・また化学肥料の低減に向けて、食品残渣堆肥（いわゆる食品ロス等から作られる肥料）を活用した eco みどり配合肥料を JA とびあ浜松として開発し、普及に向けた試験を進めている。
- ・これら2つの技術を合わせ、BSによって良い苗を創出し、圃場（農地）では eco みどり配合肥料を活用した栽培を実施して収量や品質に影響が出ないか確認を進めたい。

2. 実現したい目標について

- ・苗または本圃（栽培完了まで使用する農地）にて効果的な資材を散布することにより病害の発生を抑える技術の確立
- ・eco みどり配合肥料と組み合わせることによって、収量(収穫の分量)や品質（葉色、ボリューム、病気発生、抗酸化力、ビタミンC、硝酸、ミネラル吸収等）が慣行区（その地域において一般的に栽培している方法）と比べて差がない、あるいは改善している青梗菜を栽培できる技術の確立。

3. 必要とする技術について

- ・BS資材の評価技術
- ・青梗菜の苗及び収穫物の品質評価技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

- ・BS資材等の散布の有無による生育効果の検証
- ・eco みどり配合肥料の散布有無による生育効果の検証
- ・独自の資材や肥料を活用した育成效果の検証

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・農林水産省「みどりの食料システム戦略（概要）」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/attach/pdf/jichinet-73.pdf>

- ・PRTimes 株式会社 AGRI SMILE「バイオスティミュラント資材の評価体系構築に向けた実証試験を JA みっかびと共同で開始」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000039438.html>